

TOSYSは持続可能な世界の実現のために「ESG」の取組みを展開

株式会社TOSYS



はじめに

TOSYSは甲信越エリアの通信建設会社として、NTTほか通信キャリアからの受託ビジネスに加え、近年は民需ビジネスへ事業領域を拡大しています。

TOSYSは事業を通じて地域に貢献すべく、「ESG」に配慮した取組みを全社員で展開しています。

「SDGs」「TCFD」「SBT」「ESG」といった言葉を新聞紙上やニュースで目にしない日はないといっても過言ではありません（図

1）。気候変動や環境問題に配慮し、世界中の誰もがいきいきと暮らせる地球を後世に残すために、社会貢献につながる生活や職場づくりは今や必須のものとなっています。

そこでTOSYSでは、通信インフラや社会インフラの構築を通じて、人と人、人と社会を技術でつなぎ、ICTで地域と社会を「下支え」することが役割であり、適正な形で事業を継続していくことが社会貢献につながるを考え、これを全社員で展開していくために「ESG」に配慮した取組みを行っています。

1. CSRとESG

ご存じのとおり、CSRは「企業の社会的責任」と訳され、企業が成長を続けていくためには、株主や従業員、顧客、取引先、地域社会などから信頼を得なければならないことはもちろんのこと、技術やサービスが高品質かつ安全であること、公正で倫理に沿った活動を行っていること、また、昨今では、環境に配慮していることなども求められています。

そこでTOSYSにおいては、

■SDGs (サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ (Sustainable Development Goals))

- ・持続可能な開発目標という意味。
- ・17個の目標が設置され、環境に関わること以外にも、社会や健康など様々な観点から目標が設置されている。



■TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

- ・日本語では「気候関連財務情報開示タスクフォース」。
- ・企業にとって、気候変動に係るリスク及び収益機会が自社の事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を行い、どのような対策を講じて経営戦略を立てているのかを開示する。

■SBT (Science Based Targets)

- ・「科学と整合した目標設定」のことで、温室効果ガス削減目標の指標のひとつ。
- ・2015年に採択されたパリ協定が求める、いわゆる『2°C目標 (1.5°C目標)』が求める水準と整合した、企業が中長期的に設定する温室効果ガス削減目標と、この目標が示す社会の実現に資する目標設定を促す枠組み。

■ESG (投資・経営) (環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance))

- ・環境、社会、企業統治の3分野に重きを置く企業に行う投資のこと。
- ・この3分野は企業が真に持続可能 (サステナビリティ) であるために欠かせないトピック。
- ・ESGに取り組むということ、即ち、サステナブル経営を行っているということ。
- ・利益を下げず社会貢献を行うといった類のものではなく、サステナブル経営を行うことで企業のプレゼンスを維持向上させる。

図1 「SDGs」「TCFD」「SBT」「ESG」

「ESG」を用いた取組みを全社員で展開しています。

ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取った言葉で、気候変動問題や人権問題などの世界的な社会課題が顕在化している中、企業が長期的成長をめざす上で重視すべきESGの観点での配慮ができていない企業は、投資家などから企業価値毀損のリスクを抱えているとみなされます。

TOSYS自体は、コムシスホールディングスの一員であり、上場企業ではありませんが、ESGに配慮した取組みを行うことで、社会的責任を果たすことのみならず、持続的な成長を支える経営基盤の強化につなげようと考えています。

2. 取組みのスタート

2021年度の第3四半期にTOSYS

として「ESG」に取り組むことを決定し、環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) の3つのカテゴリーにおいて、まずは、こういった項目を掲げるかを、若手を中心とした社員の皆さんからさまざまな意見を集めました。それらの意見について項目・文言などを整理し、経営会議の場で「ESG」として掲げるべき項目を決議しました。

その上で、項目ごとに設定する目標・指標の案を各組織で検討し、その集約結果を経営会議において検討・論議し、2022年度の「ESG」を決定し、事業計画にも織り込むことで具体的な展開を推進することとしました。

これらプロセスは、「ESG」を全社員が自分たちのことと受け止めて、取り組むために必要であったと考えます。

本取組みをスタートした際には、

笠井社長を交えた座談会を開催 (写真) し、その模様は社内誌により周知しました。その中で、社長からは、「TOSYSで働いている私たちや家族も含めて『TOSYSってすごいよね』『先を見ている会社だよね』と自慢できるような良い会社であればいいと思います。また、『ゼロカーボンをめざしましょう』『SDGsに取り組ましよう』といった世間の動きに追従しているだけでは間に合わない、何も評価してもらえないと私は思っています。『ESGって何?』という企業もまだたくさんあると思います。そんな中で私たちTOSYSは、世の中が次にこういう動きになるだろうということを取ら取って考え、将来を見越して課題提起し、世の中をリードするくらいの気持ちで取り組んでいけば企業価値も上がると思います。そして、環境保全やSDGsにしっかりと取り組んでいる



長野会場



新潟会場



笠井代表取締役社長

写真 ESG取組みにあたっての社内座談会（2022.1.13 Teams会議）

持続可能な世界の実現のために、ESGに配慮した指標・目標を設定した取組みを全社員で展開し、長期的な成長を支える経営基盤の強化につなげていく

E

事業活動に伴う
エネルギーの削減

S

元気が出る仕組み
働きやすい仕組みづくり

G

公正・健全な
事業継続への取組み

(1)ICT活用によるゼロカーボン	ワークスタイルの変革に向けたリモートワーク、Web会議、電子決裁の促進 ワークスタイルの変革を促進するゼロトラ、シンクラ化 乗用車、商用車のEV化 全ビルの電力使用量削減
(2)CO ₂ 排出量の抑制への取組み	グリーン電力化 事業所電灯のLED化 ペーパーレス化 事業で発生するCO ₂ 排出量の把握 事務用品グリーン購入 一般廃棄物の分別排出 利活用の促進
(3)環境保全への取組み	ワーク・イン・ライフ促進に向けたワークスタイル変革 働き方改革（長時間労働の抑制、年休・休暇取得等） 健康経営 社員と家族等の安全・健康 女性活躍の推進 ジェンダーフリー
(1)ワーク・イン・ライフ	障がい者、高齢者、中途採用等、雇人材の多様化 ハラスメント撲滅 職場の活性化 育成機会、資格取得
(2)多様な人材の活用	地域・社会に貢献する企業活動
(3)職場と人材活性化・育成	柔軟な組織体制 事業計画の達成 安全、品質 グループ経営 グループガバナンス
(4)企業活動としての地域・社会貢献	取締役会等会議体の適正運用 常勤監査役、内部監査、内部統制評価 不正経理の撲滅 適切な会計処理 商売事故の回避 公正な取引の実践 SLAの遵守 ハラスメント撲滅宣言 情報セキュリティ BCP（災害、新型感染症など）
(1)継続的な事業運営強化	
(2)ガバナンスの利いた企業運営	
(3)リスクマネジメント	

図2 ESG経営

ことを実感すれば、私たちが素晴らしい会社にいるという自負も生まれるのではないのでしょうか。そしてそれは大きなことでなくとも、自分の周りのことを地道にコツコツとやっていくことで達成できることなのではないかと思っています」とのコメントがありました。

3. TOSYSの「ESG」

TOSYSにおけるESGにおいて

は、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の категорияで全社としての目標・指標を設定し、その全社目標を受けて各事業部が当初事業計画策定の中で組織ごとでの取組み内容・目標等を設定し、修正計画策定時、次年度事業計画策定時において振り返りを行っています（図2）。

また、これらESGで設定する項目や目標・指標については、事業年

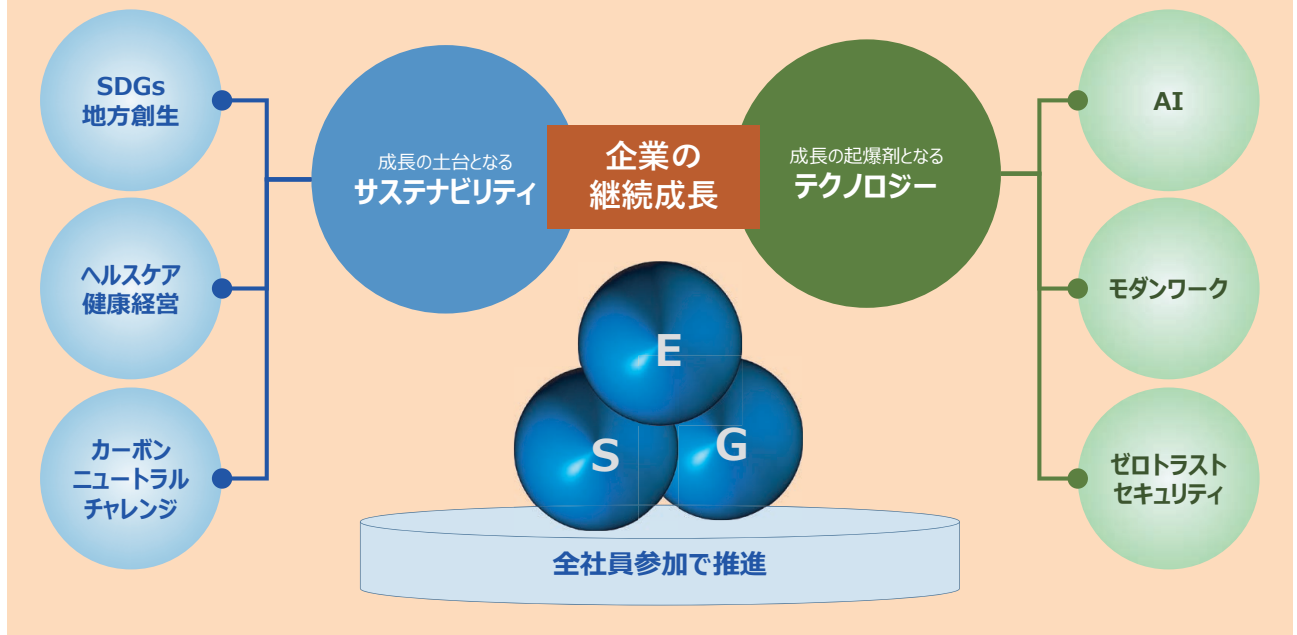
度ごとに見直しを行い、項目の追加・削除、目標・指標のアップデートを行っています。

■環境（Environment）

現在、私たちが経済的な豊かさを優先して発展してきた結果として、さまざまな種類の環境課題を抱えています。

世界が持続的な発展を続けるためには、企業や個人も環境課題の解決に向けた取組みを強化する必要があ

継続的なビジネスの成長のための「サステナビリティ」と「テクノロジー」の二刀流



ります。

TOSYSとしては、大項目として「事業活動に伴うエネルギーの削減」を掲げ、ICT活用などによるワークスタイルを変革しゼロカーボン達成していくことのほか、CO₂排出量の抑制への取組み、環境保全への取組みを目標としています。

■社会 (Social)

私たちは、誰もが安心して生活できる豊かな社会をめざし発展してきましたが、実際には人々の生存や生活がおびやかされる社会課題が数多く存在します。

利益を追求する企業や個人の行動が社会課題の多くを引き起こす面もあるため、より豊かな社会を実現するために、行動の見直しが求められています。

TOSYSとしては、「元気になる仕組み・働きやすい仕組みづくり」を掲げ、働き方改革を中心としたワーク・イン・ライフ、女性活躍やジェンダーフリーなどの多様な人材の活用、ハラスメント撲滅、職場活性化、育成機会の創出、企業活動としての地域・社会貢献などを設定しています。

■ガバナンス (Governance)

ガバナンス (企業統治) は、「企業が健全な経営を行うための自己管理体制」のことです。

不正会計や不適切営業など、日本でも世界でも、社会全体に悪影響を及ぼす企業不祥事が後を絶ちません。企業がしっかりとした管理体制を自ら備え、社会のルールを守ることが、企業と社会の持続的な発展の

大前提となります。

TOSYSとしては、「公正・健全な事業継続への取組み」を掲げ、継続的な事業運営強化、ガバナンスの利いた企業運営、リスクマネジメントの各項ごとに目標・指標を設定しています。

おわりに

TOSYSは、これからの10年、20年など将来を見通し先んじて取り組むために、ESGに配慮した指標・目標を設定した取組みを展開し、長期的な成長を支える経営基盤の強化につなげ、安全・安心で高品質なインフラと自社サービスをお客さまと社会に提供し続けてまいります。